

令和4年6月15日発行

サポセン和歌山

更生保護サポートセンター和歌山
〒640-8157 和歌山市八幡丁4 八幡丁館3階

第50号

発行責任者：
和歌山保護司会会長
編集：企画調整保護司TEL：073-460-9298
FAX：073-425-1301
Email：
saposen_w@ares.
eonet.ne.jp
H.P：
[http://wahokai.sakura.
ne.jp/saposen/](http://wahokai.sakura.ne.jp/saposen/)

保護司会会長就任にあたってのご報告とご挨拶

和歌山保護司会会長

小川 史乗



小西保護司会会長より、令和4年3月31日付で『体調不良により役職を全うするのは困難なため役員を辞任したい』旨の辞任届が、診断書を添えて角田事務局長宛提出されました。

小西健之会長は、保護司会会長としてまた平成25年5月からは県保護司会連合会会長を務められ、『サポートセンター和歌山』の設立にもご尽力をいただきました。

会長辞任については残任期間が残り一年ということでもあり、保護司会役員一同の総意として遺留につとめました。残念ながら辞任のお気持ちが変わることはありませんでした。

4月30日急遽会長選出のための役員会を開き、残任期間一年間の和歌山保護司会会長として就任することとなりました。なお、小西健之氏の辞任にともない、東支部長には中村四郎氏が選出されました。

コロナ禍にあっても大型連休を迎え社会が動き出している今、以前のように保護司会活動がほとんど出来ず総会も開催できない様な現状を思うと、心が重い状況での就任となりました。

『少年法の改正』や『保護司の複数担当制』など、法律の改正や制度の変更もあり喫緊に研修しなければならぬ事柄も多く、またお互いの懇親を深めるための場も大切が必要となっています。

今後は、保護観察所『所長指示』に従い感染予防対策を取り、皆様方のご意見もよく聞き役員の皆様と協議しながら更生保護の充実のため活動してまいりますので、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

令和4年度和歌山保護司会総会中止

例年5月に開催されている和歌山保護司会総会はコロナ感染症拡大防止の為、昨年に引き続き中止になりました。その為、議案については総会資料を郵送し、議案の回答を皆様から返送して頂き、書面表決となりました。その結果は下記の通りです。

令和4年度和歌山保護司会総会議決結果（書面表決）

会員数	201人
賛成数	174人
未回答	27人

以上、過半数賛成により、全ての議案が了承されました。お忙しい中ご回答いただきありがとうございます。

令和4年度各支部総会議決結果（書面表決）

東支部		西支部		南支部		北支部	
会員数	64名	会員数	45名	会員数	42名	会員数	50名
賛成数	63名	賛成数	35名	賛成数	40名	賛成数	47名
未回答	1名	未回答	10名	未回答	2名	未回答	3名

以上、全ての支部におきましても、過半数賛成により、全ての議案が承認されました。

おめでとう
ございます

令和4年度市長感謝状受賞者

受賞おめでとうございます



今年は7名の方が受賞されました。5月27日、保護観察所にて市長感謝状の贈呈式が開催されました。例年総会時に行われておりました贈呈式ですが、本年も総会中止となり本来なら皆様と喜びを分かち合いたかったところですが、三密を避けての受賞となりました。

受賞者喜びの声

南支部 大畑 千賀子
「市長感謝状受賞を受けて」

保護司を拝命し9年目を迎え感慨深いものがあります。委嘱を受けたものの対象者との面接は不安続きでしたが、主任官のご指導や諸先輩方からの温かい励ましのお蔭で少しずつ自信を持てる様になりました。未成年の対象者とのかわりでは家庭環境の大切さを考えさせられました。

今回の受賞はこれ迄の年月を改めて振り返る機会となりました。今後も初心を忘れずきめ細やかな心配りに努めていきたいと思ひます。

支 部	氏 名	
西支部	岡 崎 眞太郎	(おかざき しんたろう)
南支部	大 畑 千賀子	(おおはた ちかこ)
	小 西 博 久	(こにし ひろひさ)
	静 木 克 志	(しずき かつし)
北支部	木 綿 良 介	(きわた りょうすけ)
	長 束 千代美	(ながつか ちよみ)
	中 村 陽 一	(なかむら よういち)

第72回 “社会を明るくする運動”

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、啓発グッズ・ポスターは昨年同様の配布方法となりましたが、各支部工夫をこらし啓発活動を行いたいと思ひます。

● JR 和歌山駅頭啓発

例年7月1日に行っております駅頭啓発は規模を縮小し少人数での開催となります。(詳細は各支部にお問い合わせください)

● 啓発グッズ・ポスター等

和歌山保護司会から各支部長へ啓発グッズをお渡しさせていただいています。

うちわ・例年通りの数
ポスター…A3を各支部に保護司数

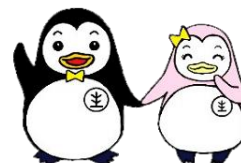
ポスターが必要な方は支部長へご連絡ください。

なお、連絡支所等市の施設へは、和歌山市よりポスターを配布していただいております。配布リストは各支部長にお渡ししております。(詳細は各支部にお問い合わせください)

● 作文コンテスト

中学校担当保護司を中心に小中学校へ直接チラシ等を持参していただき、応募依頼を行っていただきます。

(支部長または各支部犯罪予防活動担当部長へお問い合わせください)



観察所着任あいさつ

和歌山保護観察所の4月の人事異動がありました。着任のあいさつをご紹介します。

統括保護観察官
福地 亮人
ふくち あきと



この度、北海道から転任してきた福地と申します。更生保護サポセンとセンター和歌山様におかれましては、本年6月で開所10年を迎えると聞いております。そのような時期に和歌山で勤務できることをうれしく思っています。どうぞ、よろしく願います。

保護観察官
小田 千穂
おだ ちほ



このたび、大阪保護観察所堺支部から転任し、三年ぶりに和歌山保護観察所で勤務させていただきます。企画調整課の業務にあたりつつ、和歌山北支部を担当させていただきます。御迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、少しでも和歌山の更生保護のため頑張っていく所存です。よろしく願います。

保護観察官
毛谷村 穂孝
けやむら ほだか



精神科診療所、地域包括支援センター（介護保険）で精神保健福祉士及び社会福祉士としての勤務経験を経て、平成28年から社会復帰調整官として医療観察制度の処遇に従事しました。このたび京都保護観察所から異動して参りました。これまでの経験を活かし、保護観察官として邁進して参ります。御指導の程よろしく願います。

保護観察官
福丸 若菜
ふくまる わかな



この度の人事異動で、岡山保護観察所から転任して参りました。平成30年度に採用されたから、中国地方で4年間勤務し、生まれ育った近畿地方で勤務することとなりました。保護観察官は今年で2年目となります。まだまだ未熟のため、御迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、精一杯頑張りますのでどうぞよろしく願います。

転出

お世話になりました

氏名（元官職）	転出先（新官職）
林 久人 （統括保護観察官）	松山保護観察所 （統括審査官）
和田 正孝 （保護観察官）	大阪保護観察所堺支部 （保護観察官）
伊田 和泰 （保護観察官）	奈良保護観察所 （統括保護観察官）
坂本 凌 （保護観察官）	大阪保護観察所 （保護観察官）



犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ
第72回 社会を明るくする運動

7月は「社会を明るくする運動」強調月間・再犯防止啓発月間です。



お知らせ



サポートセンター和歌山 俳句教室作品

高々と嬰へ祝詞の花の宮
花見客屋台の前に混み合ひて
鯉幟孫と爺との作業かな
大花火合掌をする老夫婦
独酌に刺身煮付けの桜鯛
春昼や白き錦雲浮遊せり
蒲公英の絮近づきてふいに逸れ
ぶらんこを繞り合ひての兄弟

選者 「森 幸子」

森 幸子
乾 三千代
大竹 有美
乙井 八重子
坂本 漸
杉谷 睦夫
得津 壽美代
中村 咲子



新任・OB・OGの皆さん
日時：毎月第3水曜日 10時～
対象：更生保護関係者

第1期地域別定例研修

東支部	令和4年6月15日(水)
西支部	令和4年6月22日(水)
南支部	令和4年6月24日(金)
北支部	令和4年6月27日(月)

・詳細は各支部の案内等でご確認ください。
・所属支部の研修日に都合がつかず出席できない方は、事前に支部長に申し出て他支部の地域別研修に参加をお願いいたします。

《保護観察経過報告書について》

「保護観察経過報告書」の書式が変更されています（短期保護観察は従来通り）。令和3年度版作成用ワークセル・ワード・一太郎のCDをサポートセンターで用意しています。必要な方はお問い合わせ下さい。
サポートセンター ☎4600-9298

サポートセンターを面接場所としてご利用ください

更生保護サポートセンター和歌山において、対象者との面接をご利用希望の方はご希望の日時をサポートセンターにお問い合わせの上、ご予約をお願いします。
ご利用時間は、平日の10時から15時30分となります。

【ホームページ開設】
和歌山保護司会のホームページを開設しました。
<https://wahokai.sakura.ne.jp/saposen/> 同ホームページにはインスタグラム（写真投稿サイト）へのリンクもしています。
ホームよりのリンク先として法務省・全保連・端正会・和歌山市・その他更生保護関係先にもリンクしています。

編集後記

更生保護サポートセンター和歌山が設立10周年を迎えました。また、広報誌である「サポセン和歌山」もこうして50号を発行することができました。

これもひとえに、皆さまのご協力ご支援の賜物と、編集に携わる立場からも感謝申し上げます。これからも更生保護活動にすこしでもお役に立てる愛される広報誌を目指して、編集委員一同努力してまいります。



社会を明るくする運動

7月は「社会を明るくする運動」強化月間です。参加・協力よろしくお願ひします。

